

## 参考資料（関連計画等）

### 1. 関連計画

- 1) 青葉山公園整備基本計画
- (1) 基本目標と計画テーマ

#### 【基本目標】

青葉山公園は、仙台の礎である仙台城跡を含む青葉山と広瀬川に囲まれた区域について、藩政時代からの歴史的・文化的資源や優れた自然景観を生かしながら、市民や仙台を訪れた人が親しむことのできる杜の都のシンボルとなる公園として整備する。

#### 【計画テーマ（将来像）】

### -仙台的誇りを育み

### 心に染み入る歴史と自然の景域づくり-

「百年の杜づくり」のシンボルとして、  
自然、歴史、文化等の仙台を代表する資源を多様な主体により  
ソフト、ハード両面から機能発揮を図り、  
仙台発祥の地としての誇りと心を守り、育て、未来に伝える取り組みを目標とする。

出典：青葉山公園整備基本計画 平成 25 年 3 月

(2) 空間構成

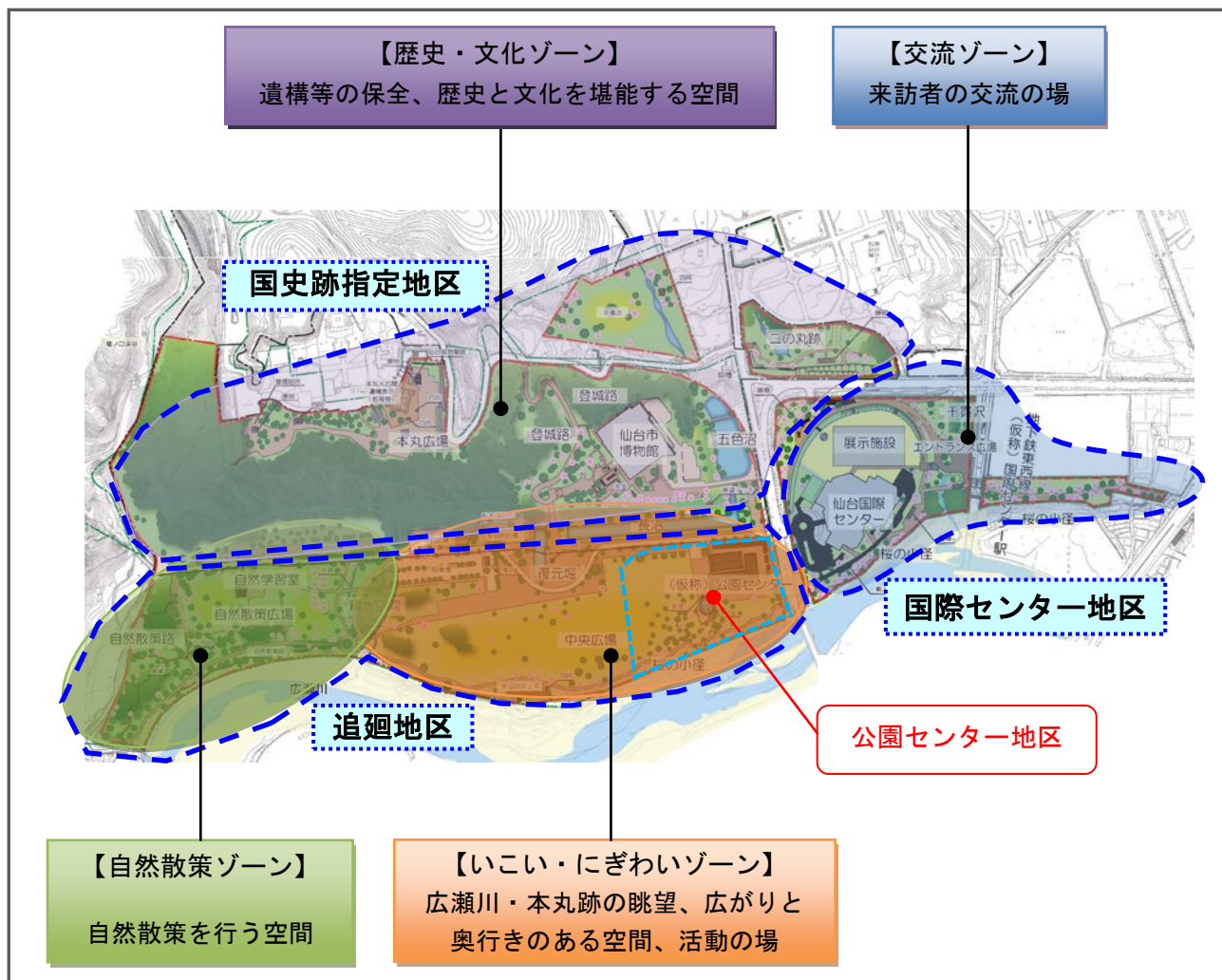


図 1 青葉山公園空間構成図

青葉山公園整備基本計画 平成 25 年 3 月 (P49)を編集

(3) 公園センターの基本コンセプト等

■整備方針

- ・青葉山公園全域のメイン施設として位置づけ、発掘調査実施後、片倉小十郎屋敷跡に建設する。歴史資料等を参考としたデザインとし、施設内容については、(仮称)国際センター駅周辺整備の基本的方向性を踏まえ、さらに検討を進める。検討にあたっては、駅周辺施設間での機能分担や、本市博物館との連携を図るものとする。
- ・周辺には池・茶室を配置した日本庭園の整備を行い、施設の魅力向上を図る。

出典：青葉山公園整備基本計画 平成 25 年 3 月

## ■基本コンセプト

- ◎青葉山公園、仙台城跡方面への玄関口にふさわしい、来訪者に向けた「杜の都・仙台の歴史・文化の発信」
- ・ビジターセンターとしての機能をベースとしつつ、青葉山公園の玄関口という立地特性や、藩政時代からの歴史性も踏まえた、仙台の歴史、文化の発信

### <整備イメージ図>



## ■機能展開の方向性

- ・周辺施設との連携を図りながら、ビジターセンターとしての来訪者への各種利便を提供
- ・青葉山公園の玄関口としての特性を活かし、歴史、文化資産や、周辺の豊かな自然環境を活かした機能を核として設定
- ・特に、立地場所の歴史的背景や、博物館、仙台城本丸跡方面への動線の入口に位置するという特性を踏まえ、「藩政時代からの仙台の歴史・文化の分かりやすい形での紹介、情報発信」を博物館等と連携を図りながら、観光客やコンベンション参加者など来訪者に対し効果的に行っていくことを軸とした機能を検討

出典：青葉山公園整備基本計画 平成 25 年 3 月

## 2) 地下鉄東西線（仮称）国際センター駅周辺整備の基本的方向性（最終とりまとめ）

### 《 エリアコンセプト 》

**新たな魅力を創造・発信する、杜の都 仙台のシンボルゾーンへ**  
～観光・コンベンションをはじめとする広域的な集客・交流機能や、  
市民の創造的活動の拠点エリアとして、仙台・東北の魅力を国内外へ発信～

上記のエリアコンセプトのもと、都心部や東西線沿線を始めとする市内他エリアの多様な都市機能との役割分担、相互連携による相乗効果の発揮といったことも視野に入れながら、次の三つの機能強化を図っていく。

#### (1) 機能強化の方向性

##### コンベンション機能

###### 『民間の創意を活用し、多面的な機能を有するコンベンションエリアへ』

###### 《 具体的機能 》

- ・国際センターを核とした、学会等の大規模コンベンション需要への対応能力の拡大
- ・国際会議などコンベンションの積極的誘致により、仙台・東北の復興を国内外に発信
- ・「仙台らしさ」が凝縮したこの地区の特性を活かし、“おもてなし”も含めたコンベンション受け入れ環境を整備

##### 観光交流機能

###### 『新たな観光交流拠点として、仙台の歴史、自然、文化など「杜の都」の魅力をアピール』

###### 《 具体的機能 》

- ・仙台城跡、博物館、青葉山公園など既存の観光資源の魅力向上や、新たな観光資源の創出
- ・個々の資源をつなぐ回遊ルートの形成、インフォメーション・ガイダンス機能の整備、利便施設（休憩・飲食、物販等）の充実
- ・ピジターだけでなく、多くの市民が日常的に集い、憩い、楽しむことの出来る環境の整備

##### ミュージアム機能

###### 『多様な資源を生かし、市民の創造的な活動や多様な交流を育む「ミュージアム空間』

###### 《 具体的機能 》

- ・歴史、文化、自然、学術など多様な学びの資源を生かした、地区全体が一つのミュージアム空間となるような環境整備
- ・東北の歴史・文化など多様な魅力を発信
- ・「鑑賞する」にとどまらず、「体験」「創作」「表現」など市民の創造的な活動や交流の拠点
- ・東北大学が有する学術資源を有効に活用するなど、「学都」としてのブランド力、魅力の向上
- ・市域内外の様々な文化施設との連携による、仙台の歴史、文化等に関する総合的な情報発信やサテライト展示、交流事業等の核としての機能の発揮

出典：地下鉄東西線（仮称）国際センター駅周辺整備の基本的方向性（最終とりまとめ）平成 24 年 1 月



# 施設等の配置と機能強化イメージ

- 国際センター駅周辺地区について、「新たな魅力を創造・発信する、杜の都 仙台のシンボルゾーンへ」という基本理念のもと、既存施設・資源の活用はもとより、新たな施設の整備・利活用や、施設間のネットワーク、相互連携を図るとともに、この地区の歴史性や自然・景観と調和のとれた施設デザインに配慮しながら、地区全体として前記のような機能強化等を図っていく。



## 2. アンケート・ヒアリング等

### 1) アンケート

#### (1) 市政モニター

市政モニターを対象とする「みどりの市民意識調査」にて、公園センターの機能や役割に関するアンケートを実施した。

##### 【特に重要とされた機能】

- ・青葉山公園、周辺施設の案内
- ・気軽に利用できるカフェ、飲食店
- ・観光、散策時の休憩所
- ・仙台城の歴史解説
- ・市内観光施設の案内

#### (2) 事業者

公園センターへの事業参入について、飲食事業者などを対象にアンケートを実施した。

##### 【特に関心のある事業】

- ・カフェ、軽食店の運営
- ・観光、散策時の休憩機能の整備と、日用品、名産品の販売
- ・カフェ、軽食店、物販施設などの個別施設の整備と管理運営
- ・公園センターだけではなく、青葉山公園全体のマネジメント

### 2) ヒアリング

#### (1) 観光事業者

観光面や集客のための課題を把握するため、観光事業者にヒアリングを実施した。

##### 【特に重要な課題】

- ・仙台の観光は、インバウンドへの対応が急務
- ・教育旅行は、起点となる場所から地下鉄などの公共交通を利用して周遊できることが必要
- ・「周遊」「食べる」「買う」「体験」「教育」のキーワードが重要
  - 周遊 …周遊拠点として、バスの乗降・駐車スペース
  - 食べる…食事できる施設が必要で、周辺の既存飲食施設と異なる独自性
  - 買う …観光客を誘引する土産物等の物販施設
  - 体験 …仙台ならではの体験ができる施設や、ボランティアガイドによるガイドツアーの実施など、ハード・ソフト両面の対応
  - 教育 …市民が知っておくべき仙台の歴史などを気軽に学び、観光客にも興味を持たれる内容と、魅力的なソフト展開

## (2) 市民活動団体

青葉山公園に関連する市民活動団体に、ヒアリングを実施した。

### 【特に重要な項目】

- ・公園センターでの活動への参画
- ・ガイドツアーやイベント開催時の活動メンバーの控室設置
- ・青葉山公園及び周辺施設、仙台城の歴史、伊達藩関連施設の解説展示
- ・ガイドツアーの開催
- ・庭園
- ・広瀬川のイベント会場、広瀬川へのアプローチ、広瀬川に開けたカフェの設置など、広瀬川と関連した整備

## 3. 「青葉山公園（仮称）公園センターの整備に関する懇話会」による意見の聴取

平成 28 年 6 月から 4 回にわたり開催された懇話会において、建築、造園、歴史、観光、まちづくり等の専門分野 11 名の有識者から、公園センターの全体コンセプト、整備運営に関わる多岐にわたる具体的な意見をいただいた。

平成 28 年 12 月に市に提出された「青葉山公園（仮称）公園センターの整備に関する懇話会意見報告書」の概要は次頁に示すとおりである。



## 【懇話会意見の概要】

### 1 エリア全体のコンセプト等について

#### ◇市民に喜ばれるという視点

市民が青葉山公園を誇りに思い日常的に楽しみ、憩いの場として利用していること、更に市民がもてなす側として青葉山の魅力づくりに関わっていることが、来訪者の再び訪れてみたいという思いにつながると考えられる。このような日常の利用と活動を通じて市民に喜ばれるという視点が必要である。

#### ◇青葉山・仙台城跡のエントランス

公園センターは、青葉山、仙台城を楽しむに行くためのエントランスであり、本丸地区に登る、広瀬川へ下りるなど公園内を移動する拠点であると考えられる。そのために必要な情報発信などの機能を担う必要がある。教育旅行の拠点としても考慮すべきである。

#### ◇周辺施設の連携の拠点

仙台市博物館や国際センターなどの周辺施設をつなぎ、連携の拠点となって、周辺エリア全体の魅力を向上させることが必要である。

#### ◇既存資源の魅力向上

仙台城跡と広瀬川など、青葉山周辺の今ある歴史・自然資源をつなぎ、その魅力を引き出し、向上させることが必要である。

### 2 機能について

#### 〈情報発信機能〉

#### ◇仙台・青葉山を知るきっかけとなる情報

青葉山の全体像や周辺施設、青葉山が誇るべき仙台城の石垣、天然記念物、博物館の情報を発信し、実際に出かけて行くきっかけとなることが必要である。また、青葉山公園をより楽しむための様々な体験プログラムの情報についても発信することが必要である。

#### 〈飲食・休憩機能〉

#### ◇幅広い時間の公園利用に対応

早朝の散策やランニング、夜間の飲食や休憩などに利用できることが必要である。

#### ◇周辺施設と異なる特徴

飲食施設は、地元業者の参画も視野に入れながら、周辺施設と異なる特徴を持たせ、公園センターだけではなくどの施設にも人が集まると良い。

#### 〈体験・交流機能〉

#### ◇「体験」の充実

「本物」、「仙台らしさ」や「健康」などの視点で、市民活動団体や民間事業者の工夫により来訪者が様々な体験や活動ができることが必要である。

#### ◇市民活動との連携

公園センターは市民活動団体の活動を支援し、市民活動団体は来訪者へ体験プログラムを提供するなど、公園センターのサービスと団体の活動が共に円滑に行われていく仕組みが必要である。また、市民活動団体や民間事業者と話し合いをしながら、この場所で行われる体験プログラムのガイドラインをつくると良い。

#### ◇仙台らしいおもてなし、ユニークベニューの展開

仙台らしいおもてなしやユニークベニューを展開するために、青葉山の景観と歴史的特性を十分に生かすとともに、インバウンドについては、「本物」の体験を提供し、ニーズの変化への柔軟な対応ができるようにしておく必要がある。

#### ◇仙台の歴史・文化発信の工夫

単なる展示ではなく、訪れたその季節の雰囲気を感じられること、体験も含めたソフト展開が必要である。武家屋敷があった場所で、町人文化であるお祭りの山車を展示することは違和感があるため、歴史的な経緯も併せて展示するなどの工夫をすべきである。お祭りの展示と体験は、公園センター以外にも、国際センター駅やメディアテークでの展開も考えられる。

### 3 施設について

#### ◇市民の誇りとなる場所

市民が誇りを持って案内でき、将来の仙台市民にとっても誇りとなる場所となると良い。

#### ◇文化財の保護

公園センター予定地は仙台城跡の一部であり、遺構の保護には十分に留意する必要がある。また、遺構についての情報発信をすると良い。

#### ◇デザインの考え方

この場所の藩政時代などの重層的な歴史、地形の特性、公園センターで展開される機能を踏まえながら、歴史的風情と豊かな自然と調和したデザインとすべきである。過去から現代、未来へと歴史をつないでいくデザインとなると良い。復元建築物と誤解されないように留意が必要である。

#### ◇一体的なデザイン

建物だけではなく、ランドスケープとしてとらえ、遠景での見え方、近づいていくときの見え方及び建物の素材の質感など空間を一体的にデザインすることが必要である。

#### ◇ゆとりのある施設配置

追廻地区の広々と開放的な土地を生かし、ゆとりのある施設配置とし、工夫次第で何かができる余地を残しておくべきである。

#### ◇「場所」のデザイン

来訪者が最初に訪れる建物の北側と東側が公園センターの顔となる場所と考えられ、デザインの工夫、広瀬川の石垣の見せ方の検討、また、大橋から公園センター、更には登城路への誘導動線の整理が必要である。

#### ◇大橋からの見え方

大橋をメインアプローチと捉え、大橋からの公園センターの見え方、そこから青葉山へ進んで見えてくる風景の連続性を重視して空間をデザインする必要がある。

#### ◇広瀬川とのつながり

来訪者が広瀬川のせせらぎと良好な眺望を体感できるように、また、公園センターを拠点とした川での活動も考慮し、公園センターと広瀬川がつながるような空間デザインの工夫が必要である。

#### ◇設計の進め方の工夫

良い建築家が選定されれば、この場所の歴史的な意味を踏まえ、様々な要望を解決し、現代的な技術を使ってふさわしい建築を行うことができると思う。仙台市が示す方向性をもとに、設計者の創造力が発揮できる方法とすべきである。また、設計のプロセスをオープンにし、様々な議論をして、設計に反映されていくと、期待が高まり、市民のプライドとなるような公園センターになると考えられる。

### 4 運営、名称など

#### ◇公園のマネジメント

地元の活動団体や周辺施設、仙台市などの青葉山公園の関係者による運営協議会によって、公園をマネジメントしていくと良い。

#### ◇公園センターの名称

公園センターの機能にふさわしい名称があると良い。